

～京都市障害者就労支援推進会議通信～

本市では、国、京都府の関係行政から民間まで、企業、労働、福祉、教育等の各分野の関係機関及び団体等と連携して、障害のある方が生きがいを持って働くことができるよう、それぞれのライフステージに応じて、切れ目なく支援するための協働機構「京都市障害者就労支援推進会議」（平成21年8月設立）を中心に、「一般就労の促進」「定着支援の充実」「福祉的就労の底上げ」に係る施策を推進しています。

※「第5期京都市障害福祉計画」（平成30年3月策定）における成果目標

項 目		目標値			
一般就労への移行者数		平成 32 年度末時点で 243 人以上（平成 28 年度実績の 1.5 倍以上）			
就労定着支援による職場定着率		就労定着支援による支援開始から 1 年後で 80% 以上			
年 度	26	27	28	29	30
移行者数	110 人	147 人	162 人	232 人	276 人

令和元年度 主な取組と予算



1 伝福連携担い手育成支援事業

2,500千円

伝統産業分野における障害のある方の職域を拡大し、就労支援・雇用創出を図ることで、技術継承や後継者確保を目指すため、障害のある方の雇用又は市内の障害者就労支援事業所への業務の発注に意欲がある伝統産業事業者に対して、障害者就労支援アドバイザーの派遣や障害のある方を雇用する際に必要な備品購入等に要する費用の補助を行っています。



京鹿の子絞「下絵」の工程



京鹿の子絞「くくり」の工程

※ 令和元年度補助事業者について

補助事業者名	事業概要
株式会社 種田	「京くみひも」の技術継承
京鹿の子絞振興協同組合	「京鹿の子絞」の技術継承
平井水引工芸	「水引工芸」の技術継承
西陣整経同業組合	西陣織「糸繰り」の工程保存



京鹿の子絞
「糸入れ」
の工程



2 障害者就労支援プロモート事業

12,521千円

2名の「障害者就労支援プロモーター」を配置し、障害者就労支援事業所職員の支援スキル及び障害のある方の就労スキルを高める研修や、企業における職域拡大、雇用後の定着支援などを推進する見学会やセミナー等を実施しています。



障害者雇用企業見学会～農福連携～
「さんさん山城」見学会



障害者雇用企業事例勉強会
-精神障害や発達障害の職場定着を考える-



障害者就労体験・意見交換会
簡易宿所の宿泊施設業務ワークショップ



3 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

2,600千円

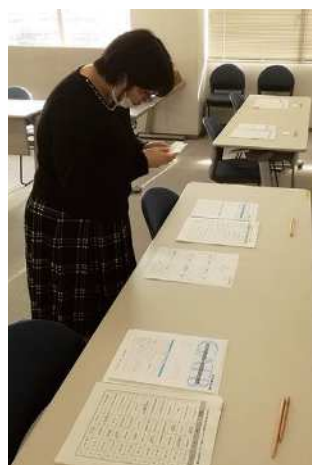
将来の企業就職に向けたステップアップとするため、障害者就労支援事業所等と連携し、一般就労を希望する障害のある方を対象に、京都市役所の職場（局、区役所、保育所など）において、職場実習（約2週間）やチャレンジ雇用（臨時的任用職員としての雇用1～2箇月）を実施しています。

実習及び雇用の期間中は、実習コーディネーター（ジョブコーチ等）が業務の切り出しや実習評価を行います。

【職場実習】 27名（予定）7月以降、順次実施

【チャレンジ雇用】 2名（予定）

※実習経験者の中から選考



セミナー会場を
設営している様子



市バスの遮光フィルムを
裁断している様子



4 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業

3,400千円

障害者雇用に意欲があり、障害のある方が働きやすい環境の整備や、業務の切り出し、作業の標準化、社内理解の促進などのノウハウを必要としている企業等に対して、アドバイザーの派遣や、働く意欲や能力、適性を確認する職場体験会に要する費用等の補助を行っています。



採用選考を兼ねて、花苗の栽培体験会を行いました！



5 障害者職場定着支援等推進センター事業

22,143千円

障害のある方の長期就労を支援することを目的に、「京都市障害者職場定着支援等推進センター」（北山ふれあいセンター内）及び本センターの南部分室（京都テルサ内）を設置し、両センターに配置している専門職員が、就労に関する相談、企業訪問等による状況把握、仲間づくり支援（交流サロン）などを行い、障害のある方の自立と社会参加を推進しています。



交流サロン「ぼろぼろ」



交流サロン
クイズラリー in 植物園



はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

22,731千円

工賃水準の向上をはじめとする福祉的就労の底上げを図るため、平成23年10月、市内施設のほっとはあと製品を取り扱うアンテナショップ「はあと・フレンズ・ストア」を開設し、製品開発、生産・販売の新しいモデル事業づくりや販路拡大に取り組んでいます。この取組を通じて、障害のある方の自立と社会参加を促進するとともに、企業や市民に対する障害者福祉への理解促進や将来の雇用機会の創出を図ります。

4月から6月まで、京都マルイにおいて、ポップアップ・ストアを開設し、多くの方々に製品を知っていただく機会となりました。

はあと・フレンズ・ストア



四条河原町花遊小路商店街内

〔営業時間〕 11:00~19:30

〔定休日〕 毎週水曜日、年末年始

〔TEL〕 075-221-8033



ストアHP
QRコード



ほっとはあと製品の一例

平成30年度 主な取組の実績

1 伝福連携担い手育成支援事業

補助事業者名	事業実績概要
株式会社 種田	京鹿の子紋「くくり」の工程保存（3施設6名が作業に従事）
京鹿の子紋 振興協同組合	京鹿の子紋「絵刷り」「糸入れ」の工程保存（3施設15名が作業に従事）

2 障害者就労支援プロモート事業

(1) 京都市障害者就労支援推進会議の開催内容

開催日 30.9.19	報告事項	京都市障害者就労支援推進会議 部会等の取組状況について 京都市障害福祉計画における福祉施設から一般就労への移行について 京都市障害者就労支援推進事業について
	協議事項	発達障害のある学生に対する就労支援について

【部会】

精神障害者就労支援システム検討部会	精神障害者就労支援システムの検討	3回開催
発達障害者支援連携協議会・就労支援連絡部会	発達障害者の就労支援について	1回開催
巢立ちのネットワーク	総合支援学校生徒の就労職場開拓の検討及び情報交換等	4回開催
	第25回雇用フォーラムの開催	30.11.7
デュアルシステム推進ネットワーク会議	長期企業実習や職業教育のあり方の検討	2回開催
障害者職域開発推進部会	アドバイザー派遣等支援事業審査会の実施	1回開催
はあと・フレンズ・プロジェクト推進部会	事業の進捗状況及び計画等	1回開催

(2) 障害者就労支援スキルアップ研修、企業見学会及びセミナーの開催

名称	対象	開催回数	参加者数
障害者就労支援スキルアップ研修	障害福祉施設の利用者及び支援員	19回	延べ285人
企業見学会・セミナー	企業の人事担当者等	9回	延べ214人

3 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

(1) 職場実習の実施状況

身体障害（1名）、知的障害（17名）、精神障害（7名）のある方25名が市役所の職場で、それぞれ約2週間の職場実習を行い、6名の方が一般就労されました（令和元年7月末現在）。

(2) チャレンジ雇用の実施状況

上記の実習を受けた方の中から2名を京都市の臨時的任用職員として採用しました。

実施職場：保健福祉局障害保健福祉推進室（2名）

4 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業

「障害者職域開発推進部会」の有識者等からの意見を踏まえ、以下の事業者を補助事業者に指定し、障害者雇用拡大の取組を支援しました。

補助事業者名	事業実績概要
学校法人 立命館	障害学生支援と合わせた障害者雇用モデル構築（精神に障害のある方2名を採用）
農事組合法人 花トピア大原野	花壇苗や鉢物の生産・販売事業の担い手の確保（精神に障害のある方1名を採用）

5 障害者職場定着支援等推進センター事業

(1) 相談・支援件数：13,391件

(2) 就職後1年経過時点の定着率：81.1%

(3) 交流サロン参加人数：延べ358人

6 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

(1) 年間売上金額…10,644千円（前年度比2.1%アップ）

(2) 出店販売の風景



保育フェスタ



京都市立病院



チャリティ絵画展

(3) SDGs バッジの販売（平成31年1月開始）

幅広く市民や事業者の皆様にSDGsを知っていただくための啓発手段の一つとして、市内産木材（みやこ杉木）を使用し、市内障害者就労支援事業所がバッジのピン付け・袋詰め作業を行い、製作・販売を開始しました。

25mm サークル穴あきタイプ
¥850（税込み）



20mm 金フチタイプ
¥1,000（税込み）



「少しのずれもないように」こだわりと
プライドと最高の集中力！

7 京都市障害者就労支援推進会議ウェブサイト「はたらきまひょ」

障害者就労支援プロモート事業における各セミナー・

見学会等の開催情報や、障害者就労支援事業所等の情報を
提供しています。URL：<http://www.hatarakimahyo.jp>



QRコードからも閲覧できます。

京都市障害者就労支援推進会議通信 第11号 令和元年8月発行

事務局：京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室

〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町394番地Y・J・Kビル3階

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940

京都市印刷物第314494号